

# 脳脊髄液減少症について



岡山県マスコット

「ももっち」

## 脳脊髄液減少症とは

交通事故による頸椎ねんざ（むち打ち症）やスポーツ外傷等身体への強い衝撃等により、脳脊髄液が漏れる症状をいい、長期にわたり頭痛、頸部痛、めまい、吐き気、視力低下、倦怠感などの他、集中力、思考力、記憶力の低下など、様々な症状を呈する疾患とされています。

（平成19年5月31日付け文部科学省の通知より）

※現在、専門家や研究者の間で治療研究が行われており、医学的な解明が進められている段階です。

※治療方法については、確立されていません。治療法の1つとされているブラッドパッチ療法は平成28年4月より健康保険が適用されました。

**事故発生後、頭痛やめまい等の症状が見られたら、十分留意を！！**

## ～交通事故、スポーツでの事故発生後の対応～

★児童生徒に頭痛やめまい等の症状が見られる場合・・・

安静を保ちつつ医療機関で受診をさせる。

保護者に連絡して医療機関の受診を促す。

\* 医療機関は、岡山県保健福祉部医薬安全課のホームページ参照。

(<http://www.pref.okayama.jp/page/259110.html>)

※受診の際には、事前に医療機関にお問い合わせを。

※治療法については、担当医師とよく御相談ください。

★事故後の後遺症がある場合・・・

必要に応じ、養護教諭を含む教職員が連携し、個々の児童生徒の心身の状態に応じ、学習面を含め、学校生活の様々な面で適切に配慮する。